

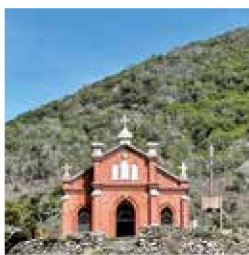
地域の魅力をつなぐ観光周遊プラン例

3つの連携の視点（①共通テーマによる連携、②観光拠点と周辺地域の連携、③交通アクセスによる連携）を組み合わせることで、広域的な周遊プランの創出が可能となります。令和6年度（2024年度）の県外観光需要調査によると、本県を訪れた際の観光目的の1位が「地元の美味しいものを食べる（53%）」となっており、旅行の魅力に「食」は欠かせません。これらの視点を活かした周遊プランのイメージを以下に例示します。

①【歴史】×【食】×【交通】

「教会と城をめぐる、海の幸と海の旅」

～歴史的背景を持つ建造物と地元の食文化を組み合わせ、定期船や飛行機を活用して離島の魅力を満喫する旅～



×



×



②【自然体験】×【食】×【交通】

「鉄道でめぐる、酒と風土と癒しの旅」

～鉄道沿線の酒蔵と地元食材を楽しみながら、棚田や海辺の自然景観に触れる、癒しと味覚の旅～



×



×



写真提供：©SASEBO

③【観光拠点】×【食】×【自然体験】×【交通】

「観光拠点を起点に、水辺と温泉で心身を整える旅」

～観光拠点での滞在を軸に、穏やかな水辺の景観や温泉で癒され、地元の食文化を味わいながら、湾岸クルーズや鉄道による快適な移動も楽しむ旅～



×



×



写真提供：©NAGASAKI CITY

④ 【自然・アクティビティ】 × 【食】 × 【交通】

「火山の恵みを走って味わう、水と湯と食の横断旅」

～火山地形が育んだ湧水と温泉に癒され、地元食材を味わいながら
自然の中をサイクリングで巡り、熊本方面からの航路を活用して広域周遊を楽しむ旅～



×



×



⑤ 【歴史】 × 【食】 × 【国境】

「隣国との交流と国防の歴史を探る旅」

～国境の島々を巡り、古代から続く日韓交流の足跡を辿る。
国防の要衝としての歴史と文化が交差する地を体感する旅～



×



×



⑥ 【平和】 × 【食】 × 【平和】

「平和の記憶と地元の恵みを味わう旅」

～戦争遺構や平和施設を訪ねながら、地元の名物を味わい、
長崎の歴史と食文化に触れる旅～



×



×

